

地域ケア会議

(1) 開催実績（令和4年度～令和7年11月末）

（単位：回）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
地域ケア個別会議	40	70	78	45
地域ケア推進会議	24	24	36	16
自立支援型地域ケア会議	36	35	26	26

(2) 参加職種

地域	本人、家族、民生委員、福祉委員、自治会関係、近隣住民、地区社協、公民館職員 等
医療関係	医師、歯科医師、薬剤師、看護師、保健師、歯科衛生士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、栄養士 等
介護関係	居宅介護支援事業所、訪問/通所サービス事業所、福祉用具、入所系事業所、主任ケアマネジャー 等
その他	障がい者相談支援事業所、障害福祉サービス事業所、就労継続支援事業所、成年後見人、成年後見センター、動物愛護センター、銀行、不動産会社、行政 等

(3) 検討内容例

○地域ケア個別会議

テーマ	身寄りのない高齢者の生活・財産管理、緊急時対応
成果	警察や関係機関との情報共有により、各職種が担える役割や限界を整理できた 制度だけでは補えない領域について、地域全体で支える視点が共有された
テーマ	介護負担が増大しているが支援を拒む家族と、認知症が進行している本人への対応
成果	職種で情報と見立てを共有し、今後の支援の方向性について共通理解を得た 家族調整や意思決定支援も、地域ケア個別会議の重要な役割であることが確認された

○地域ケア推進会議

テーマ	認知症の方と家族が孤立しない地域づくり
成果	地区ごとの現状を共有し、顔の見える関係づくりの重要性を再確認 個別支援を超えた「地域としての支え合い」の方向性を整理できた
テーマ	地域活動・社会資源を持続可能にする工夫
成果	活動継続のための工夫や担い手づくりについて好事例を共有 地域資源を「点」ではなく「面」で活かす視点が共有された

○自立支援型地域ケア会議

テーマ	身体機能低下と家事負担を踏まえた生活改善
成果	専門職の視点から、転倒予防や役割分担を含めた具体的な支援策が提示された 介護サービスに依存しすぎない、自立支援の考え方が共有された
テーマ	パーキンソン病等を有する本人の不安軽減と生活継続支援
成果	本人の意向を尊重しつつ、心身機能と生活環境を踏まえた支援方針を整理 自立支援を多職種で具体的に検討するプロセスが可視化された